

2022年度事業報告書

1 事業の成果

2022年度は、国内外のブルーカーボンの情報を収集し、記事を作成してホームページへの掲載、ニュースレターの発行を行い、広く情報を発信した。支援事業については、支援体制を整えるための準備として、全国各地の事例に関する情報収集を行った。普及啓発事業については、一般や会員に向けた研修会を開催し、取り組み事例を共有した。調査研究事業については、廉価・平易な藻場調査手法の技術を確認するため、熱海にて実証実験を重ね機器類の調整を行ったが、同海域での実験だけではデータの取得が困難だったため出張調査を実施した。その他この法人の目的を達成するために必要な事業については、法人を円滑に運営するための基盤整備として、熱海市内でのネットワークを形成した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
① 情報発信事業	国内外の取り組みの記事にしてホームページに掲載	通年	法人事務所	1人	不特定多数 会員 134名	332
	ホームページの管理運営	随時				
	ニュースレターの発行	12月31日				
② 支援事業	支援体制を整えるための情報収集	通年	法人事務所	1人	準備段階のため 0名	100
③ 普及啓発事業	ブルーカーボン研修会の開催	2月17日	法人事務所/オンライン	1人	会員及び一般 24名	270
	環境勉強会の実施	12月28日 2月10日 2月21日 2月22日 2月28日 3月20日 3月24日	熱海市内		会員及び一般 66名	

		3月25日				
④ 調査研究事業	藻場調査手法の開発	通年	熱海市内	1人	不特定多数	1,100
⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業	法人の基盤整備	通年	熱海市内	1人	準備段階のため 0名	100

(別紙)

事業に関する追加報告

- ① 情報発信事業
- ② 支援事業

2022年の主な事業

3月：「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」主催の業種交流会参加

※朝日新聞取材

5月：未来創造部によるブルーカーボン体験プログラムスタート

6月：未来創造部による熱海でコアマモの移植

8月：特定非営利活動法人認証取得

※全国のパタゴニア店舗でのパネル展示

9月：岩波ブックレット『ブルーカーボンとは何かー 温暖化を防ぐ「海の森」ー』刊行

10月：静岡市立高等学校、熱海高等学校に海の環境学習出前授業実施

※パタゴニア主催：草の根活動団体が集まるセミナー合宿で活動紹介

12月：東京ビッグサイト「エコプロ2022」でブルーカーボンやネットワークについて紹介

※その他：熱海での見学受け入れ、メディアからの取材を多数受けました

- ③ 普及啓発事業

■日本や世界の取り組みを週1～2本、コンパクトな記事をウェブサイトで紹介

Initiatives

日本・世界の取り組み

The screenshot shows a website interface with a navigation bar containing buttons for '新着一覧' (New Arrivals), '日本の取り組み' (Japan's Initiatives), '世界の取り組み' (World's Initiatives), and '調査・研究' (Research). Below the navigation bar is a grid of nine article cards, each featuring a representative image and a brief title. The articles cover topics such as blue carbon measurement systems, international cooperation with JICA, global forums on blue carbon, mangrove forest projects, and the establishment of an international blue carbon institute.

記事タイトル	日付	地域
ブルーカーボン自動計測システムの活用で筆場を創出	2023.05.09	日本の取り組み
北海道ガス、函館市とブルーカーボン・オフセットを推進	2023.05.06	日本の取り組み
JICA、フィリピンとインドネシアと共にブルーカーボン生態系保全に取り組み	2023.05.03	世界の取り組み
世界経済フォーラム (WEF)：ブルーカーボンの取り組みに世界規模でかじ取りを行う新たなインシアチブを発足	2023.04.30	世界の取り組み
世界経済フォーラムが示す、ブルーカーボンを拡大する4つの方法	2023.04.27	世界の取り組み
過去を保全するためのインドネシアの海草再生プロジェクトが未来を守ることになるかもしれない	2023.04.24	世界の取り組み
Klimat X (カーボンクレジット開発会社)：シエラレオネでマングローブ森林プロジェクトを開発中	2023.04.21	世界の取り組み
ウニを食べて海を守る とっとりうの花ウニまつり	2023.04.19	日本の取り組み
東南アジア：アマゾンとコンサベーション・インターナショナルがシンガポールに国際・ブルーカーボン・インスティテュートを設立	2023.04.17	世界の取り組み

■ フェイスブックページの開設およびサポーターグループで情報共有



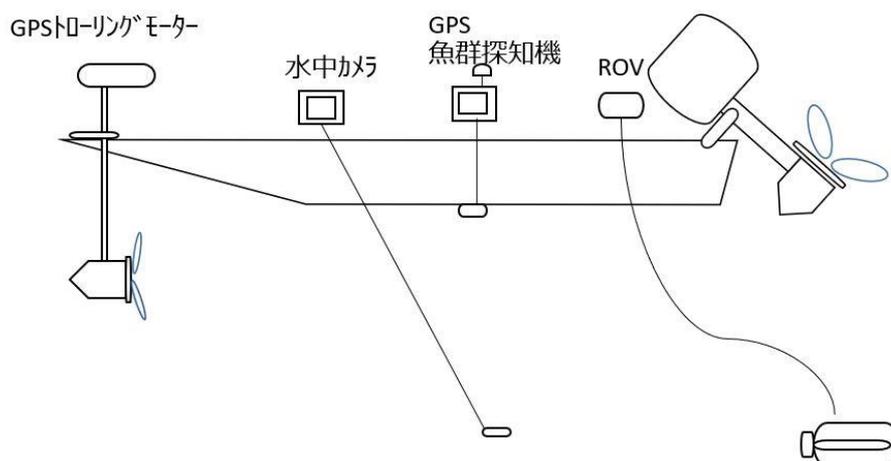
■ 定期的なセミナーで学びと情報共有の場づくり

	日時	スピーカー	テーマ
ブルーカーボン・ネットワーク設立記念シンポジウム	2021年11月3日(水) 13時-15時	<ul style="list-style-type: none"> ● 奄美大島瀬戸内町の取り組み 株式会社オーシャナ代表・瀬戸内町地域活性化企業人 河本雄太氏 ● 熱海の取り組み 株式会社未来創造部副代表 光村智弘 ● 横浜の取り組み 一般社団法人里海イニシアティブ理事 富本龍徳氏 ● 横浜ブルーカーボンからJBEへ シャパンブルーエコノミー技術研究組合理事 信時正人氏 ● ブルーファイナンスについて 一般社団法人パーチュデザイン代表理事 吉高まり氏 	ブルーカーボンの意義と内外の動向、活動事例紹介
第1回	2022年3月8日(火) 10時-12時	シャパンブルーエコノミー技術研究組合 理事長 桑江朝比呂氏	JBEでの調査研究やクレジットを含むブルーエコノミー、クレジット事業の最新動向について
第2回	2022年6月8日(水) 13時-15時	ブルーカーボン・ネットワーク代表、株式会社未来創造部代表取締役 枝廣淳子	ブルーカーボンの基礎、クレジットも含む最新動向について解説
第3回	2022年10月17日(月) 13時-15時	笹川平和財団海洋政策研究所上席研究員 渡邊 敦氏	ブルーカーボンを取り巻く国際的な動向について
第4回	2023年2月17日(金) 10時-12時	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本製鉄株式会社 技術開発本部 先端技術研究所 環境基盤研究部 課長 小杉知佳氏 ● ヒロメラボ 代表 山西秀明氏 	Jブルークレジットの認証を受けた企業の取り組みと和歌山でヒロメの生産と普及に取り組む活動の紹介
第5回	2023年4月17日(月) 14時-15時30分	国立研究開発法人海洋研究開発機構 技術開発部 次長(兼)地球環境部門 北極環境変動総合研究センター 北極観測技術開発グループ グループリーダー 吉田 弘氏	「海中からのCO2回収」について、技術や世界の動向について解説いただく

④ 調査研究事業

平易・迅速・廉価な藻場分布調査手法を研究中

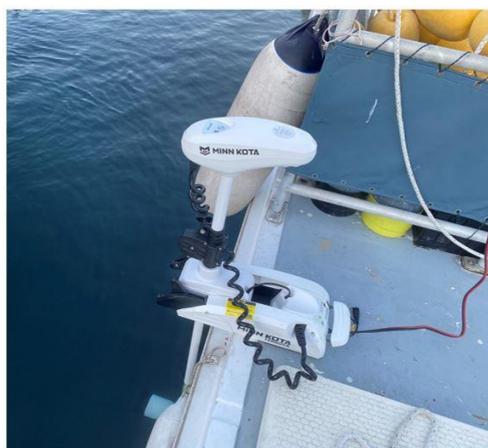
(調査研究例) 藻場分布調査船を開発し、試行



トローリングモーター



ミンコタ社iPilot



ROV(水中ドローン)

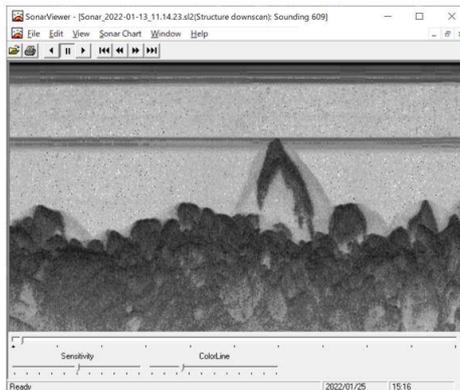


QYSEA FIFISH V6 水中ドローン



画像解析

GPS魚探 ダウンスキャン画像



水中カメラ画像



⑤ 法人の基盤整備

NPO法人設立に向けた準備、および地元熱海市や県内でのネットワークを形成